木更津総合高等学校
教務部　小林弘幸

平成30年度学校評価における中間報告

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
時間割	3	毎日の時間割変更作業は、教務部員ほぼ全員が関わっている作業である。この作業に対する評価3は妥当である。	
定期試験･追試験再試験	2	定期試験は、選択科目が多い関係上4時間4日間に収めるのが至難である。追試験に関しては一週間間隔を開けて実施している。従来に比べて、見込み点処理は大幅に減少した	
日程・行事	2	行事予定については、充分な考慮期間、会議を経ているので改善の余地はないと思われる。	
年間指導計画	2	現状が最適と判断。	
教育課程	2	特進の一部改革を行った。新指導要領に向け検討中	
教科書・補助教材	2	学事課への提出が7月初旬と早く、また、この時期は修学支援金の書類提出も重なり時間に追われる作業であった。	
授業時間	2	変則時間(短縮授業や、行事による変更)にあわせてチャイムの適切な運用を行っている。	機械操作ができる者を増やす必要がある。
教育実習	2	原則として卒業生の実習は受け入れている。	
スクールバス	2	特に問題なし	部活・大学でバスを使用し、運用に苦労した場面あり
新入生実力試験	2	特に問題なし	
指導要録・出席簿	1	管理責任者を立ててしっかりと行ってゆきたい。	
ｺｰｽ履修	2	教科書・教員確保等の関係から、どうしても1年生の6月の時点でコース、科目を決めなければならない。入学して2ヶ月ではなかなか決められないのが現状である。	
ウエブ	2	適切に管理しているつもりである。	
サーバー管理	2	充分な管理を行ってきたつもりである。	
学籍管理	1	充分な管理を行ってきたつもりである。	
ICT	3	電子黒板・WiFi整備計画の一部が実施された。	残りの整備計画や、生徒の端末導入等考えてゆきたい

優れている・・・3、適切・・・2、改善が必要・・・1